

タットン会 通信

2006. 10. 21

◎ タットン会ホームページ [タットン会](#) と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時なども確認できます。皆様からの掲示板コメントもお待ちしております。
また、日時・場所についての確認のみ → ボランティアセンター 046 (825) 0017

【9月30日のタットン会 (県立保健福祉大学 荏原優子)】 9月30日のタットン会で初めて進行(チーフ)をやらせていただきました。当日はとても緊張していて、運動をあまりしてなくとも心拍があがったままだった気がします。当日はまだチャレンジャーさんの個性がわかっていないため、うまくバディーを作れず、物足りなく感じてしまったチャレンジャーさんもいたかと思いますが、ボランティアさんの柔軟な対応、またチャレンジャーさんのやる気のおかげもあって、楽しい笑顔を見られてとても安心しました。まだまだタットン会初心者ですが、チャレンジャー・ボランティアさんの助けを借りながら(たくさん借りると思いますが...)成長し、皆さんに何か素敵なものを見せていけるようになりたいと思います。

(事務局孝さんから、この日はいつになく皆の真剣さがすごかった!との感想をもらいました)

【東京ボランティア(遊ぶ会)体験記!】

10月10日に東京のボランティア(早稲田大学教授「本田恵子先生」が主催する『遊ぶ会』)に参加してきました。そこでは軽度発達障害の小学生～高校生の仲間23名に引率が約16名。保護者支援や仲間作り・SST(ソーシャルスキルトレーニング)を主として行なっているようです。この日は、石神井公園でボート乗りやオリエンテーリングを楽しんできました。私は他の団体のボランティアに参加し、新鮮な緊張感や今後タットン会に活かせる事などを発見したくて以前から本田先生にはお願いをしていました。今回参加させて頂き、1. 参加するボランティアさんの緊張と期待感(一日は長かったけれど、充実感はたくさんあった)を味わえた 2. グループ作りの大切さ 3. 振り返り(反省会?)の大切さ等、大きく分けて3つの収穫がありました。人混みの中、新宿まで引率し保護者に受け渡してから引率者と本田先生の「振り返り」の2時間は最も貴重な時間でした。一日の行動を振り返り、「あの時のあの場面での対応は?」「どう対応すれば良かったのか?」...等々、素晴らしいアドバイスを頂きながら次回の予定を立てているところはボランティアを通りこした専門的なソーシャルスキルグループ活動そのものでした。可能な範囲でタットン会にも、導入できればと思います。往復4時間の旅?は、宝物をもらってきたおじいさんのようでした(笑)。本田先生・リーダー、そして引率者と子供達の皆様ありがとうございました。



本田恵子先生よりコメント『遊ぶ会は、子どもが大好きで、将来学校の先生やスクールカウンセラーになりたい学生さんが自らの実践力をつけるために自主的に運営しています。子ども達は、有り余るエネルギーを日常生活ではうまく出せずに、さまざまなストレスや傷つき体験をしています。1ヶ月に1回、大型の公園に出かけていき、思い切りからだも心もストレッチする体験ができたらと思い、学生さんたちといっしょに老体?に鞭打ってがんばっております。準備をする学生さんは、念入りに打ち合わせをしたり下見をしたりと大変ですが、それ以上に、その日、そのときの子ども達の心や人間関係の様子を見ながらプランを組み立て直したり、グループ編成を変えたりするのが一番心配りをするところです。毎回、さまざまなトラブルあり、笑いあり。トラブル場面は、一番の学習場面なのですとんでいって対応します。けんかしても、自分たちでしっかり仲直りできる力がついてくれればと思っています。間にはいつ、けられることもたびたびですが、子ども達は、ここでは、安心できるのか、さっと立ち直ったり、ほんとにいい表情を見せてくれます。昨日の心温まる子どもからのひとこと「本田せんせ。せっかくこないいいところにきてるんだから、たまには、ゆっくりあそぼうよ」集合時間に間に合いそうになくなり、小走りになってきた本田の後姿を見ながら、子どもがかけてくれたひとことです。日常生活に追われていると、こういう本音のひとこと、心に染み入りますね。佐藤先生、またぜひいらしてください。お待ちしております。』 → (タットン会メンバーで研修にいきたいです)

感想・参加者カード・気がついたこと

※1 前半卓球・後半バドミントン、たまに注目してくれない所もあったけれど、いっぱい笑ってくれて良かった。褒めたり、上手く打てるとガッツポーズをし笑ってくれて嬉しかった。(S・美様)
(紙面上、皆様のコメントを載せることが出来ず、ごめんなさい。チャレンジャー参加者19名)

進路と余暇を考える ~パート11~

こんにちは。

私の勤める学校は、小学部、中学部だけの養護学校で、私自身は中学部に所属しています。20年近く養護学校畑を歩いてきましたが、この3月にタットン会の活動に参加させていただいた折りに、武山養護学校を卒業なさった方がお元気に活動されているのを目の当たりにして(その方とお会いするのは実に17年ぶりくらいでした)、ある種の感動をおぼえたものでした。「進路と余暇を考える」というのがこの欄のテーマですが、障害のある方々の余暇を支援するタットン会の活動は、一般的に言ってこれまで十分な取り組みがなされてこなかった領域に、光を当てるという意味で、非常に大きな意味をもつ活動だと認識しています。

さて、少し前の話になりますが、6月の中旬に、総合福祉会館で行われた「障害者福祉に関する意見交換会」に参加してきました。昼の部と夜の部の2回設定されていたので、私はその日の仕事を終え、夜の部に参加しました。その中で、今年度の障害者施策の重点事業の説明があり、市内で3ヶ所の駅舎にエレベータが新設されること、グループホームや地域作業所の数が増えることなどを知ることができました。その後、メインとなる意見交換会に移りましたが、発言なさるのは精神の方たちが圧倒的に多く、その意見を耳にしながらい、「自分の勤務校の保護者の方たちは、昼の部に参加したのであるか?意見は言えたのかな?」とか、「意見交換会という場があるのはすばらしいことだが、こういう機会をとらえて意見を述べることのできなわない方たちの声(「声なき声」というべきか?)は、どういう形で生かされるのであろうか?」と考えたことでした。いずれにしても、障害のある方たちにかかわる者の一人として、身近な横須賀市における障害者福祉の着実な充実を願ってやまないものです。

市立養護学校 向井博幸

第50回タットン会 本日 10月21日の流れ 於 サブアリーナ

- 9:00~ 準備・受付
- 9:30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り 自己紹介・握手をしよう!
体操(ディズニーorラジオ体操)、各種目へ(持続回数に挑戦など)
- 10:20 休憩 けん玉で遊ぼう!?
- 10:40~ 後半競技~(試合形式に挑戦)
- 11:10頃 パラシュート!
- 11:20頃 片づけ・モップ、集合隊形(手話コーナー)・けがの確認
- 11:40頃 解散



右隅が卓球コート、手前と左奥にバドミントンコート4面を設置

本日の担当者

チーフ: 浅羽佑介 準備指示: 石田恵美子
サポート: 事務局メンバー
継続受付: 大西 功 新規受付: 林美佐子
新規説明: 佐藤一雄

《 今年度の予定 》

2007年

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 50回目 10/21土(サブアリーナ決定) (市内中学校駅伝大会) | 53回目 1/20or27土(未定) |
| 51回目 11/25土(県立保健福祉大学 決定) | 54回目 2/17or24土(未定) |
| 52回目 12/16土(県立保健福祉大学 決定) | 55回目 3/24土(メインアリーナ決定) |
- 「タットン大会」を開催の予定